

一般質問

佐渡市の道路整備における 遠隔辺地対策の現状



大石惣一郎議員

しく難航している。交付金は $\frac{1}{2}$ を集落共同取組活動費に使用するように指導している。

農林水産課長 水田農業ビ

ジョンの中で法人化する集落には、30万円の地域づくり交付金を支給する。
質問 市職員の研修マニュアル・住民対応マニュアル等はあるのか。

市長 佐渡市人材育成基本方針をもとに、職員研修概要を作成中であり、項目ごとに完成次第職員に周知し実施する。

窓口対応や電話対応の研修を実施しているが、住民からの苦情は多く、対応マニュアルも作成中であり、策定された項目から職員に示す。

携し条件の整った組織から進める。集落営農は、中心となる人材確保が難

基準は何か。また、市道整備における集落負担はあるのか。

建設課長 市道改良率は、

45・26%、舗装率は59・

79%である。新市建設計

画に基づき路線の重要度・

必要性に応じてランクづ

けを行い、年次計画で整備

市道整備についての集

落負担はないが、市道でも

県営事業による農道整備

事業は、一部市の負担が

ある。

質問 新たな中山間地域

直接支払制度への佐渡市

の基本的指導方針・具体

的支援策はあるのか。

市長 法人化は、県と連



危険箇所だらけの佐渡一周線前浜地区



2月11日大崩落した県道岩首～松ヶ崎間

特に、一周線前浜地区は、非常に危険なところが残っている。懸念している。

質問 市道の改修整備工

事の進捗状況・整備順位